

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

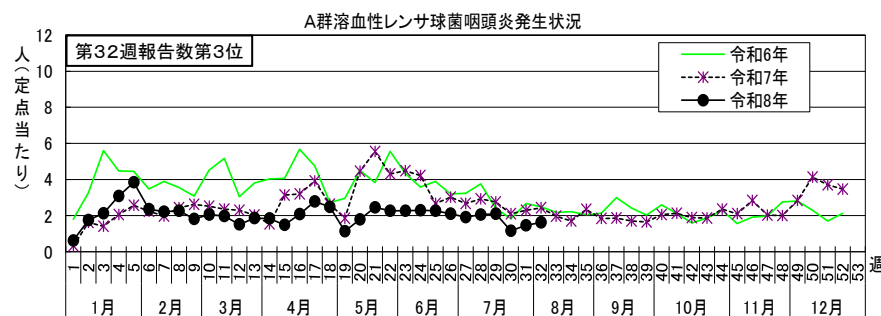
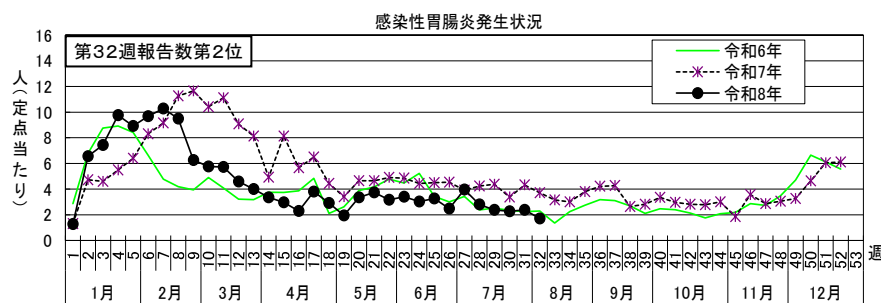
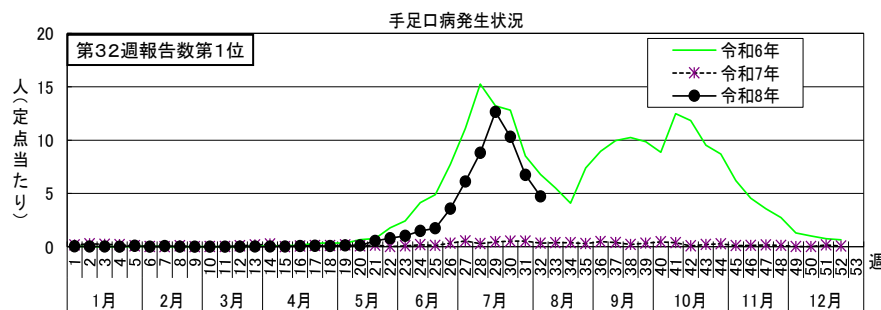
令和8年8月3日（月）～令和8年8月9日（日）〔令和8年第32週〕の感染症発生状況

第32週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は4.71人と前週（6.73人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.71人と前週（2.38人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

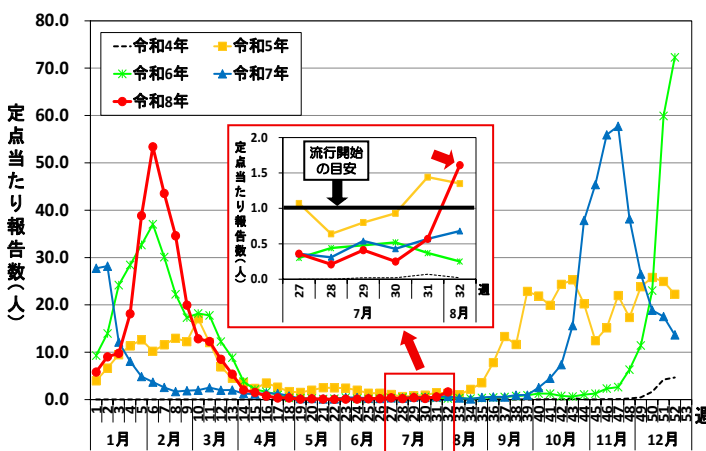
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.63人と前週（1.46人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



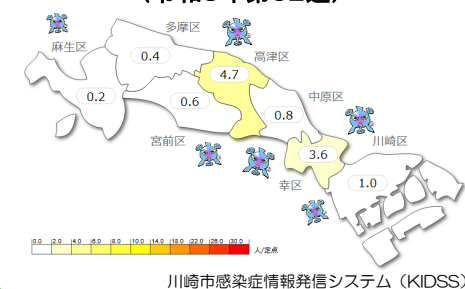
インフルエンザの流行が始まりました！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和8年第32週（8月3日～8月9日）に1.61人となり、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超えました。区別では、高津区が定点当たり4.67人と最も多く、次いで幸区が3.57人となっています。また、本市のリアルタイムサーベイランスでは、7月以降A型インフルエンザの報告数が増加しています。流行開始時期が例年とは異なるため、今後の流行状況を注視し、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ
(令和8年第32週)



インフルエンザウィルスの検出状況について

令和8年7月以降に、健康安全研究所で検出されたインフルエンザウイルス3件の内訳は、A香港型が1件、AH1 pdm09型が2件でした。